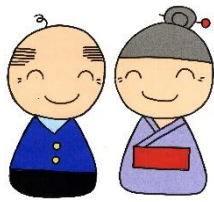


令和4年度 事業報告書



社会福祉法人 幸 寿 会

特別養護老人ホーム清風苑（長期入所）
特別養護老人ホーム清風苑（短期入所）
深谷市デイサービスセンター清風苑
清風苑在宅介護支援センター
グループホームすずかけ
生計困難者に対する相談支援事業

〒369-1105 埼玉県深谷市本田 4915 番地 1
TEL048-583-5555 FAX048-583-7257
E-mail info@seifuuen.com URL <https://seifuuen.com/>

*** 目 次 ***

はじめに・運営の理念・事業方針	2
令和4年度の主な庶務事項	3
特別養護老人ホーム清風苑 (介護老人福祉施設) (介護予防)短期入所生活介護 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	8
深谷市デイサービスセンター清風苑 (介護予防)通所介護 総評、業務目標、委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	17
清風苑在宅介護支援センター (居宅介護支援事業者)	23
深谷市在宅介護支援センター清風苑 (在宅介護支援センター) 総評、業務目標、各会議、研修・会議の参加状況、業務報告、 利用者状況	
グループホームすずかけ (認知症対応型共同生活介護) 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	26
生計困難者に対する相談支援事業 総評、相談状況、研修・会議の参加状況	32
事務 総評、業務目標、研修・会議の参加状況	34
給食 総評、業務内容、研修・会議の参加状況	35

はじめに

法人各サービスの役割をもう一度見直して整理する。職員の定着と利用率の向上に努める。これは法人各サービスの役割の範囲を見極めて利用者の介護等の必要度によって適切なサービスを案内・支援することで各サービスの特徴が発揮しやすくなり、結果として利用者支援の質の向上と職員の負担軽減や定着に繋がると考えるものです。また、利用率の向上については、安定的な運営や職員処遇に繋がります。

2019年2月に中国武漢より発生した新型コロナウイルスの感染予防対策の範囲内での活動となった令和4年度は上記をすすめるも8月にショートステイ、11月から12月にデイサービス、12月から翌年1月にショートステイと特別養護老人ホームにて新型コロナウイルスクラスターが発生しました。職員配置も厳しくなり、利用者の最低限の日常を支援するのがやっとの日々が続き、多大なご迷惑をお掛けするとともに収支にも大きな影響となりました。それでも職員の頑張りにより何とか持ちこたえ、年度末にかけて利用率は持ち直してきました。また、ロシアによるウクライナ侵攻や円安、新型コロナによる原材料不足などによる物価高について、埼玉県や深谷市からの支援金が支給されたものの金額的には及ばずであり、やむを得ないことではありますが仕入れ先や備品の見直しを行うも収支には大きな影響となりました。

このように、令和4年度前期は順調でありましたが、8月からは諸々の対応に翻弄された一年となりました。コロナ感染についてはまだ予断を許さない所ではありますが、新規感染者の少ない時期にはなるべくこれまでの生活や地域との交流ができるよう配慮しながら質の高い利用者支援とやりがいのある職場づくりに努めてまいります。

運営の理念

「私たち職員は利用者の尊厳を守り

気づきの姿勢により一人ひとりの望まれる生活を大切にし
地域福祉の向上のため貢献します」

～幸寿会のこころ

- 一、利用者に明るく接し、“安心”される介護をします
- 二、介護と看護の技術を磨き“安全”な生活を守ります
- 三、地域と連携し高齢者福祉の“発展”に努めます
- 四、職員が協力し“信頼”される幸寿会を築きます

事業方針

- 一、人命人権を尊重した業務の研鑽を行う
- 二、日常業務の改善と地域ニーズを考えた事業を展開する
- 三、環境に配慮した業務改善を行なう
- 四、職員教育とチームワークを充実する（言葉、接遇、技術）
- 五、働きやすい職場作りと待遇改善に努める

令和4年度の主な庶務事項

4. 4. 1 辞令交付式
4. 1 施設総合補償【しせつの損害補償】保険契約締結（損害保険ジャパン㈱）
4. 1 掃除・洗濯・夜間施設管理請負契約締結（清風苑：深谷市シルバー）
4. 1 夜間施設管理請負契約締結（清風苑：寄居町シルバー）
4. 1 広報「清風」第38号発行
4. 1 寝具賃貸借契約締結（特養・デイ：㈱東基）
4. 12 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出（大里広域）
4. 6 退職手当共済 R4 年度掛け金納付対象職員提出5名（福祉医療機構）
4. 11 介護職員処遇改善計画書・介護職員等特定処遇改善計画書提出（埼玉県）
4. 11 介護職員処遇改善計画書・介護職員等特定処遇改善計画書提出（大里広域）
4. 11～5/16 職員定期健康診断
4. 12 新型コロナウイルス感染症に対する高齢者施設等での医療提供体制に関する調査提出（特養・すずかけ：県高齢福祉課）
4. 13 介護職員処遇改善支援補助金計画書提出（埼玉県）
4. 16 配布抗原検査キットの使用状況の中間報告回答（特養・すずかけ：県高齢福祉課）
4. 29 老人福祉施設指導台帳提出（特養：県監査課）
4. 21 PHS 電話機交換（特養：南関通信工業㈱）
4. 26 新型コロナウイルス対策のための手袋配布（特養・デイ・すずかけ：市長寿福祉課）
4. 27 居室（ピンク棟かすみそう）ガラス交換（特養：榎本サービス）
4. 29 老人福祉施設指導台帳提出（特養：県監査課）
5. 1 カーテン保守契約締結（デイ：キングラン商事㈱）
5. 5 配布抗原検査キットの4月分使用状況回答（特養・すずかけ：県高齢福祉課）
5. 8 厨房他の害虫駆除実施（特養・デイ・すずかけ：（㈱ビルワーク）
5. 12 消防設備等（総合：清風苑）（機能：デイ・すずかけ）定期点検実施（㈱ビルワーク）
5. 18 自家用電気工作物の年次検査実施（日本テクノ）
5. 13 社会福祉施設オンライン環境整備応援事業の助成決定（特養：県社協）
5. 18 令和4年度特別養護老人ホームにおける ICT 導入状況の調査回答（特養：県高齢福祉課）
5. 25 2022 年経済構造実態調査回答（総務省・経済産業省）
5. 26 自動車税減免申請（埼玉県自動車県税事務所：4. 8. 29 県税減免通知）
5. 31 軽自動車税減免申請（深谷市：4. 6. 15 市税減免通知）
5. 31 高齢者施設・事業所の業務継続計画（BCP）の策定状況調査回答（特養：県高齢福祉課）
6. 3 埼玉県社会福祉事業共助会総会委任状提出56名（埼玉県社会福祉事業共助会）
6. 9 第133回理事会（事業報告、決算報告、社会福祉充実残額と社会福祉充実計画、評議員会の開催日程と議題の決定）
6. 2 高年齢者雇用状況報告書提出（ハローワーク熊谷）
6. 5、12 玄関・廊下壁クロス張替え工事（デイ：榎本サービス）
6. 5 監事の監査実施
6. 6 男女共同参画に関する意識・実態調査回答（深谷市）
6. 7 労働保険概算確定保険料申告書提出（電子申請）
6. 8 厨房ガズテーブル修理（特養：ホシザキ関東㈱）
6. 9 配布抗原検査キットの5月分使用状況回答（特養・すずかけ：県高齢福祉課）
6. 15 総合防災訓練（法人全体）
6. 16 自動車保険契約（JA ぶかや）
6. 17 食器（飲み物用カップ）更新190個（特養・デイ：東海興商㈱）
6. 20 浴槽水の水質検査（清風苑・デイ：㈱熊谷環境分析センター）

- 6.22 利用者健康診断(特養・すずかけ：メディカルセンター)
- 6.26 社会福祉大会知事表彰の推薦調書提出(県高齢福祉課)
- 6.27 社会福祉施設オンライン環境整備応援事業報告書提出(特養：県社協)
- 6.25 第73回評議員会(事業報告、決算報告、社会福祉充実残額と社会福祉充実計画、)
- 6.27 電子開示システム現況報告提出
- 6.28 食器購入(短期：㈱トータルサポート)
- 6.28 資産の変更登記申請完了(さいたま地方法務局)
- 6.30 賞与支払い届提出(日本年金機構)
- 7.1 労働条件等を整備するための自主点検表回答(特養：厚生労働省)
- 7.2 配布抗原検査キットの6月分使用状況回答(特養・すずかけ：県高齢福祉課)
- 7.2 賞与支払届決定通知受理(日本年金機構)
- 7.4 算定基礎届提出(日本年金機構)
- 7.6 埼玉県災害派遣福祉チーム員登録情報確認回答書提出(特養：県社協)
- 7.7 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 7.8 算定基礎届決定通知受理(日本年金機構)
- 7.13 特定給食施設等栄養管理状況報告書提出(清風苑・デイ：熊谷保健所)
- 7.15 誘導灯・消火器交換(特養：㈱ビルワーク)
- 7.17 令和3年度介護職員処遇改善加算実績報告書提出(埼玉県)
- 7.17 令和3年度介護職員処遇改善加算実績報告書提出(大里広域)
- 7.19 賃金構造基本統計調査票提出(特養・デイ：厚生労働省)
- 7.30～9.30 高齢者施設職員に対する抗原定性検査キット検査実施
(全職員・委託業者：埼玉県)
- 7.27 公益法人の収支計算書(令和3年度)の提出書提出(熊谷税務署)
- 8.1 定期健康診断報告書提出(清風苑入所者：熊谷保健所)
- 8.5 特別養護老人ホーム実態調査提出(県高齢者福祉課)
- 8.6 新型コロナウイルス感染者発生(短期)
- 8.8 食器消毒保管庫パッキン交換(特養：三洋商事㈱)
- 8.5 特別養護老人ホーム実態調査提出(県高齢者福祉課)
- 8.6～9.12 新型コロナウイルスワクチン接種(利用者・職員)
- 8.13 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(ベースアップ等支援加算)
(特養・短期・デイ：北部福祉事務所)
- 8.13 介護職員等ベースアップ等支援加算計画書提出(埼玉県)
- 8.15 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(ベースアップ等支援加算)
(すずかけ・デイ：大里広域)
- 8.15 介護職員等ベースアップ等支援加算計画書提出(大里広域)
- 8.20 介護老人福祉施設等令和3年度(決算分)収支状況等調査回答(全国老協)
- 8.23 抗原定性検査キットによる頻回検査の実績中間報告(県高齢者福祉課)
- 8.24 食器(多用鉢・湯呑・飯椀)更新(特養：㈱トータルサポート)
- 8.25 新型コロナウイルス感染対応終息(感染者利用者13名、職員7名)(短期)
- 8.29 エブリイ塗装修理(特養：坂田自動車工業㈱)
- 9.1 滅菌器更新(特養：㈱ヘルスケア)
- 9.3 共助会標準報酬基礎届(埼玉県社会福祉事業共助会)
- 9.16 感染症(新型コロナウイルス)事故報告書提出(短期：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 9.16 感染症(新型コロナウイルス)事故再発防止策報告書提出
- 9.21 骨折事故報告書提出3件(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 9.21 骨折事故再発防止策報告書提出3件(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 9.20 火災保険、地震保険契約更新
(特養・短期・通所・すずかけ：損害保険ジャパン㈱)
- 9.12 高齢者施設等の職員に対する抗原検査頻回検査に実施調査(県老協北部圏)
- 9.19 抗原定性検査キットによる頻回検査の実績中間報告(第2回)(県高齢者福祉課)

- 9. 26 食堂テレビ更新(特養：(株)ヤマダ電機)
- 9. 30 給湯器更新(すずかけ：(有)松本石油)
- 9. 30 電子開示システム現況報告再提出
- 10. 4 介護サービス施設・事業所調査回答(特養・短期：厚生労働省)
- 10. 4 ストレスチェック実施
- 10. 6 職員定期健康診断(深谷寄居医師会メディカルセンター)
- 10. 6 共助会標準月額決定通知受理(埼玉県共助会)
- 10. 2 第134回理事会(給与規程、グループホームすずかけ職員給与規程の改定、育児・介護休業等に関する規則の改定、個人情報保護規程の改定、特定個人情報取扱の改定、報告事項)
- 10. 11 令和4年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業申請(短期：県高齢者福祉課)
- 10. 11 令和4年度埼玉県高齢者施設等職員の頻回検査実施事業補助金交付申請書提出(県高齢者福祉課)
- 10. 12 大型乾燥機修理(特養：三洋商事(株))
- 10. 12 介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査回答(特養：厚生労働省)
- 10. 17 BCP訓練実施(全事業所)
- 10. 18 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 10. 18 福祉避難所の指定状況の回答(特養：市長寿福祉課)
- 11. 6 受水槽定期清掃(清風苑・(株)ビルワーク)
- 11. 6 受水槽定期清掃(デイ：(株)ビルワーク)
- 11. 9 消防設備等(機能：清風苑)(総合：デイ・すずかけ)定期点検実施(株)ビルワーク)
- 11. 13 厨房他の害虫駆除実施(清風苑・デイ・すずかけ：(株)ビルワーク)
- 11. 14 骨折事故報告書提出1件(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 11. 14 骨折事故再発防止策報告書提出1件(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 10. 20 介護サービス施設・事業所調査回答(すずかけ：厚生労働省)
- 10. 21 就業規則変更届(給与規程・グループホームすずかけ職員給与規程・育児・介護休業等に関する規則)提出(熊谷労基署)
- 10. 24 デイサービス部会現況調査回答(県老協)
- 10. 27～11. 8 職員インフルエンザ予防接種実施
- 11. 2 社会福祉施設の業務継続計画(BCP)策定状況調査回答(県高齢者福祉課)
- 11. 13 特別養護老人ホームにおける面会の実施方法について回答(県高齢者福祉課)
- 11. 18 給湯器更新(すずかけ：(有)松本石油)
- 11. 21 社会福祉充実計画策定状況等調査回答(市福祉政策課)
- 11. 25 高齢者施設における新型コロナワクチン接種に関する現状確認回答(県高齢者福祉課)
- 11. 28 ベッド介助バー、センサーマット購入(特養：(株)ヘルスケア)
- 11. 30 浄化槽定期清掃実施(小嶋衛生社)
- 12. 5～12. 15 新型コロナウイルスワクチン接種(利用者・職員)
- 12. 7 夜間通報訓練(全事業所)
- 12. 8 令和4年12月介護サービス事業者集団指導(WEB開催)出席(閲覧)報告回答(特養・短期：県福祉監査課)
- 12. 8 介護サービス事業者に対する実地指導等の実施(すずかけ：大里広域)
- 12. 10 賞与支払い届提出(電子申請)(日本年金機構)
- 12. 11～5. 3. 4 高齢者施設職員に対する抗原定性検査キット検査実施(全職員・委託業者：埼玉県)
- 12. 12 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(特定事業所加算取下げ)(支援：大里広域)
- 12. 12 骨折事故報告書提出1件(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)

- 12.12 骨折事故再発防止策報告書提出 1 件 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 12.13 大型乾燥機修理(特養：三洋商事(株))
- 12.13 新型コロナウイルス感染者発生(デイ)
- 12.14 賞与支払届決定通知受理 (日本年金機構)
- 12.15 骨折事故報告書提出 1 件 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 12.15 骨折事故再発防止策報告書提出 1 件 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 12.17 リフト浴水栓交換工事(特養：田部井建設(株))
- 12.17 浴室タイル修繕工事(デイ：田部井建設(株))
- 12.23 介護サービス事業者に対する実地指導等の結果受理(すずかけ：大里広域)
- 12.24 オミクロン株対応ワクチン接種報告書提出(深谷市保健センター)
- 12.24 新型コロナウイルス感染者発生(短期・特養)
- 12.26 新型コロナウイルス感染対応終息(感染者利用者 11 名、職員 6 名)(デイ)
- 12.29 介護職員処遇改善支援補助実績報告書提出(埼玉県)
- 11.29 36 協定届 (熊谷労基署)
- 5.1.7 深谷市社会福祉施設等食材費高騰対策支援事業支援補助金交付申請兼請求書提出
(市長寿福祉課)
- 1.13 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出 (大里広域)
- 1.13 令和 4 年度埼玉県高齢者施設等職員の頻回検査実施事業補助金交付決定
及び確定通知(県高齢者福祉課)
- 1.16 変更届出書提出(支援：管理者変更：大里広域)
- 1.16 深谷市社会福祉施設等食材費高騰対策支援事業支金交付決定通知
(市長寿福祉課)
- 1.18 リフト車更新(デイ：(有)新越商交)
- 1.19 看護師等業務従事者届提出(特養・デイ：県医療人材課)
- 1.20 新型コロナウイルス感染対応終息(感染者利用者 26 名、職員 7 名)(短期・特養)
- 1.22 ばっ気ブローアNo.2 交換修繕(特養：エコサービス(株))
- 1.23 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(医療連携加算取下げ)
(すずかけ：大里広域)
- 1.23 介護サービス事業者に対する実地指導等に係る改善結果提出(すずかけ：大里広域)
- 1.30 令和 4 年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業申請 (特養・短期：県高齢者福祉課)
- 1.31 特別養護老人ホーム等の施設及び配置医師の状況等回答(県国保医療課)
- 2.1 埼玉県高齢者施設等光熱費高騰対策支援事業補助金交付申請書提出
(県高齢者福祉課)
- 2.2 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(看護体制加算取下げ)
(特養：北部福祉事務所)
- 2.6 令和 4 年度地域における公益的な取組に関するアンケート調査回答
(県社会貢献活動推進協議会)
- 2.11 個浴水栓更新工事(特養：田部井建設(株))
- 2.14 骨折事故報告書提出 2 件 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 2.14 骨折事故再発防止策報告書提出 2 件 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 2.7 浄化槽保守点検契約締結(特養：(株)小嶋衛生社)
- 2.20 簡易専用水道管理検査実施 (埼玉県環境検査研究協会)
- 3.1 心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書提出(熊谷労基署)
- 3.1 定期健康診断結果報告書提出(熊谷労基署)
- 3.1 36 協定届 (熊谷労基署)
- 3.2 令和 4 年度ブロック塀等の安全対策状況及び非常用自家発電設備の整備に関する調査回答(特養：県高齢者福祉課)
- 3.6 防災訓練 (すずかけ) 深谷消防職員指導
- 3.9 浄化槽法定検査実施 (埼玉県浄化槽協会)

- 3.17 埼玉県高齢者施設等光熱費高騰対策支援事業補助金交付決定及び確定通知
(県高齢者福祉課)
- 3.17 令和4年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業補助金交付決定及び確定通知
(短期：県高齢者福祉課)
- 3.16 第135回理事会(第2次補正予算、事業計画、予算、就業規則の改定、給与規程の改定、グループホームすずかけ職員給与規程の改定、理事長専決事項報告、役員賠償保険更新、評議員会の日時・開催場所・議題の決定)
- 3.24 物価高騰による経費アンケート調査回答(特養：県老協)
- 3.27 清拭布貸与契約書(特養・デイ：(有)関東ベビーランドリー)
- 3.27 第73回評議員会((第2次補正予算、事業計画、予算、就業規則の改定、給与規程の改定、グループホームすずかけ職員給与規程の改定、理事長専決事項報告、役員賠償保険更新、)
- 3.30 集団指導受講確認書回答(すずかけ：大里広域)

特別養護老人ホーム清風苑
(介護老人福祉施設)
((介護予防)短期入所生活介護)

1. 総評

令和4年度目標『利用者への約束』～利用者を中心として考えられる職員になる～を意識し、職員育成委員会を設置し職員の育成と定着を目指しました。8月6日に利用者より新型コロナウイルス発生し、陽性者は職員7名・利用者13名の罹患が確認されました。最終的に8月25日まで長期にわたり隔離対応となりました。また、同年12月26日に利用者より新型コロナウイルス発生し、陽性者は職員7名・利用者25名の罹患が確認されました。年間で2回のコロナウイルス発生に伴い、ご家族をはじめ関係者の皆様にも不安を与えてしまいました。このような中、各部署の応援職員や事務職員の物品手配や購入、厨房職員等、全職員が一つのチームとして協力し感染拡大防止に尽力できました。今回の経験をもとに今後の対応として、新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画の見直しも法人として行えました。

また、入居者・ショート利用者には体調不良時の体調確認の強化をはじめ、面会や外出行事の制限など長期にわたって不便な生活が続いています。その中で、ご家族と入居者が関わりを保ちたいといった思いを、オンライン面会や窓越し面会を行い看取り面会についても感染予防を行いながら継続し、入居者と御家族の繋がりを少しでも保てるよう応える事が出来ました。また、すべての入居者ご家族へ毎月の写真と日常の様子をお手紙にして送付を続けております。今後、5類移行にともない地域の感染状況を鑑みて令和5年度からは面会制限について段階的に緩和を行います。

このような状況でも、楽しみを持って頂ける様に施設外の散策や四季を感じられる行事、食事の楽しみとして年間を通じて定期的に出前行事を取入れました。その他、個々の誕生日にその方に合った記念日を迎えられるよう計画実施する事が出来ました。

令和5年度を迎えるにあたり、法人理念に沿ってご利用者を中心として考えられる職員となる為、職員のスキルアップ・職員定着を目指し、環境を整え良質なサービスを提供できるようにする事を主な課題として取り組みます。稼働率向上の重要ポイントとして、長期的な短期入所生活介護利用者を積極的に増やす事で待機者を増やしスムーズな入所へ移行できるように調整を行っていきます。

2. 各会議・各委員会報告

【事故防止委員会】

事故ゼロを目標に活動を行いました。事故が起きた後に検証を行う事で様々な視点から事故の分析が出来ました。再発防止策が全体に周知されているかの後追いが不十分であったことは課題となりました。防げる事故・防げない事故(予測していない急な立ち上がり等による転倒)など、その中でどこまで防ぐ努力が出来るかを考え、現状+先読みを意識して日常的に関わっていく必要性を学びました。また、情報を共有する事で再発防止策についての周知をする大切さを学び周知を行う事は活動を通じて取り組む事が出来ました。

【身体拘束適正化委員会】

身体拘束者ゼロの時間帯を作る取り組みとして始めたゼロタイムは、昨年と同様に継続して全部署で取り組めた事で目標は達成出来たと評価しています。

身体拘束者は当初3名(経管栄養によりミトン着用3名の内1名はベルト着用)いましたが、本人状態を把握しベルト着用者1名は解除できました。活動として少しでもミトンを着用しない時間帯を設ける事は出来ました。排泄・口腔ケア等介助時は随時外す等、こまめに解除する時間を設ける取り組みも継続して行うことが出来ました。その中で手の清潔を保てるよう清拭を継続し不快な気持ちの削減にも取り組み継続できました。本来であれば拘束をしない事が当たり前、少しでも見守れる状況があれば外そうとする意識付けが出来ました。

【苦情解決・虐待防止委員会】

「職員の品位を保ち、より良い環境を作る事により、虐待を防止する」を目標に挨拶、表情、身だしなみ、態度等に注意し利用者様を支える職員として気持ちをコントロールできるように啓発活動を行ってきました。少しずつだが成果を感じられる場面も増えてきています。動画の研修を取り入れ気づきへの喚起も行いました。不適切ケアへの対応は施設全体で取り組む必要性があり、職員一人ひとりが意識を変えチームとして取り組む必要性を学びました。

【ショートステイ】

アセスメント表の更新をし、全職員が同じ対応ができるように適時更新を行う事ができました。また、タイムテーブルの見直しを行い午前午後共にレクリエーションが行える様に調整をしました。ショート利用者様が増えた事で情報の共有と対応について次年度への課題も見つかりました。支援に携わる全職員が情報を共有し在宅生活が維持できるように関わっていく必要性を学びました。

【環境委員会】

清潔に保ち利用者様が安心安全に生活できるようにする。職員がスムーズに業務が行える働きやすい環境作り、利用者様への約束を目標に一年間を通じて活動を行いました。各エリアの整頓はもちろんの事、環境作りに気持ちが向けられる様に職員育成にも取り組む事ができました。環境整備は事故防止の側面もある為、次年度は事故防止委員会内で取り扱う事にしました。

【職員育成委員会】

法人理念に沿って利用者を主として考えられる職員の育成と定着。経験年数に応じた育成計画の作成と実施を目標に活動を行いました。途中受け入れる側の課題も見つかりました。その為、臨時で委員会を行い全職員への周知と受け入れ環境の再構築を行いました。職員が安心して働ける環境づくりに努め、職員全体で職員の育成と定着に継続して取り組んでいく事の大切さを学びました。

【広報委員会】

広報誌の定期発行を継続し、施設活動や生活の様子を紹介しました。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

令和4. 4. 15	職場でのコミュニケーション（法人内衛生会議：13名）
4. 26	身体拘束廃止①動画視聴 『ミトン手袋で身体拘束スキントラブル発生』（施設内研修：20名）
5. 23	熱中症・感染症及び食中毒防止について（法人内衛生会議：14名）
5. 24	倫理及び法令遵守に関する研修（施設内研修：17名）
6. 21	職場環境改善『ノー残業』（法人内衛生会議：11名）
7. 15	危険か所の確認、KY訓練（法人内衛生会議：15名）
7. 26	事故防止『浴室内での実施含む』（施設内研修：15名）
9. 16	ストレスチェック（法人内衛生会議：14名） 感染症及び食中毒防止について（法人内衛生会議：14名）
10. 17	通勤時の災害防止（法人内衛生会議：10名）
11. 28	感染症及び食中毒防止について（法人内衛生会議：9名）
12. 20	事故防止②服薬事故について（施設内研修：16名） 緊急時対応（施設内研修：16名）・食中毒予防（施設内研修：16名） ターミナルケア（施設内研修：16名）
12. 20	腰痛予防（法人内衛生会議：11名）
令和5. 1. 20	危険か所の確認、KY訓練（法人内衛生会議：13名）
2. 17	感染症及び食中毒防止について（法人内衛生会議：14名）
2. 24	褥瘡予防（施設内研修：15名）・感染症研修（施設内研修：15名） ノロウイルス等感染症（施設内研修：15名）
3. 17	安全衛生委員会の再確認と次年度計画（法人内衛生会議：13名）
3. 24	身体拘束廃止②（施設内研修：16名）高齢者虐待防止（施設内研修：16名）

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	日数
令和4年6/1～令和4年6/28	かな福祉専門学校	2	40
合 計		2	40

5. ボランティア活動状況

月	団 体		個 人		合 計		《主要活動団体》 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感 染予防によりボランテ ィア受け入れを全面休 止としたため受け入れ 実績なし
5	0	0	0	0	0	0	
6	0	0	0	0	0	0	
7	0	0	0	0	0	0	
8	0	0	0	0	0	0	
9	0	0	0	0	0	0	
10	0	0	0	0	0	0	
11	0	0	0	0	0	0	
12	0	0	0	0	0	0	
1	0	0	0	0	0	0	
2	0	0	0	0	0	0	
3	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	

6. 年間行事 ()は参加者数

月	内 容
4	お花見会 (68)
5	開苑記念日 (67)
6	日帰り外出<アジサイ見学> (76) 出前行事<ほっともっと> (54)
7	七夕会 (45) 6区自治会ランドゴルフ<ふれあい・いきいきサロン> (4)
8	
9	長寿をお祝いする会 (80)
10	運動会 (47) お饅頭作り (32)
11	焼き芋 (16) お楽しみおやつ会 (88)
12	忘年会 (72) クリスマス会 (73) 餅つき (23)
1	新年会 (69)
2	節分 (73) バレンタインデー (60)
3	出前<はま寿司・ほっともっと> (59) ホワイトデー (64)

7. 業務報告

月	内 容
4	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食員会 安全衛生委員会 特養運営会議 業務改善会議 入所検討委員会 事故防止委員会 苦情解決・虐待防止委員会 身体拘束適正化委員会 ショート受入れ委員会 職員育成委員会 ケース会議 (A)
5	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食員会 安全衛生委員会 特養運営会議 業務改善会議 入所検討委員会 事故防止委員会 苦情解決・虐待防止委員会 身体拘束適正化委員会 職員育成委員会 ケース会議 (B)
6	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食員会 安全衛生委員会 特養運営会議 業務改善会議 入所検討委員会 事故防止委員会 苦情解決・虐待防止委員会 身体拘束適正化委員会 職員育成委員会 ケース会議 (C) 総合防災訓練 (地域・地震・通報・避難・消火)
7	運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食員会 ケース会議 (A)
8	運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食員会 安全衛生委員会 入所検討委員会 ケース会議 (B)
9	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食員会 安全衛生委員会 特養運営会議 業務改善会議 入所検討委員会 事故防止委員会 苦情解決・虐待防止委員会 身体拘束適正化委員会 職員育成委員会 ケース会議 (C) BCP訓練
10	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食員会 安全衛生委員会 特養運営会議 業務改善会議 入所検討委員会 事故防止委員会 苦情解決・虐待防止委員会 身体拘束適正化委員会 ケース会議 (A)
11	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食員会 安全衛生委員会 特養運営会議 業務改善会議 事故防止委員会 苦情解決・虐待防止委員会 身体拘束適正化委員会 職員育成委員会 ケース会議 (B)
12	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食員会 安全衛生委員会 特養運営会議 業務改善会議 入所検討委員会 事故防止委員会 苦情解決・虐待防止委員会 身体拘束適正化委員会 ケース会議 (C) 総合防災訓練 (夜間緊急通報訓練)
1	運営会議 給食員会 安全衛生委員会 特養運営会議 業務改善会議 入所検討委員会 ケース会議 (A)
2	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食員会 安全衛生委員会 特養運営会議 業務改善会議 入所検討委員会 事故防止委員会 苦情解決・虐待防止委員会 身体拘束適正化委員会 ケース会議 (B)
3	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食員会 安全衛生委員会 特養運営会議 業務改善会議 入所検討委員会 ケース会議 (C)

8. 利用者状況 <令和4年度に関する以外は令和5年4月1日現在にて表示>

(1) 利用者定員及び現在員状況 () は再掲：緊急措置入居
定員50名 現在員50名 (男性12名 女性38名)

(2) 利用者年齢別状況 () は再掲：緊急措置入居

年齢	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100 ～ 105	計
男性	1	3	1	0	1	4	2	0	0	12
女性	0	2	3	3	5	5	13	5	2	38
計	1	5	4	3	6	9	15	5	2	50

※最高年齢男性 93歳 10ヶ月 ※最若年齢男性 62歳 2ヶ月 ※平均年齢男性 79.3歳
女性 104歳 03ヶ月 女性 68歳 0ヶ月 女性 87.2歳
総平均 85.3歳

(3) 利用期間 (令和5年4月1日現在)

利用期間	男	女	計	利用期間	男	女	計
6ヵ月未満	3	6	9	9年～10年未満	0	0	0
6ヵ月～1年未満	2	3	5	10年～11年未満	0	1	1
1年～2年未満	3	9	12	11年～12年未満	0	1	1
2年～3年未満	2	9	11	12年～13年未満	0	0	0
3年～4年未満	1	5	6	13年～15年未満	1	0	1
4年～5年未満	0	0	0	15年～17年未満	0	0	0
5年～6年未満	0	1	1	17年～19年未満	0	0	0
6年～7年未満	0	0	0	19年～21年未満	0	0	0
7年～8年未満	0	2	2				
8年～9年未満	0	1	1	合計	12	38	50

※最短利用期間 1ヵ月間
※最長利用期間 13年 3ヵ月間
※平均利用期間 2年 7ヵ月間

(4) 要介護度 (令和4年4月1日現在) *平均介護度 4.3

要介護区分	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
男性	0	1	5	2	4	12
女性	0	0	5	12	21	38
計	0	1	10	14	25	50

(5) 入所申込状況 (入所検討委員会) () は見直し

	男	女	計
令和4年4月26日	2	1	3
5月31日	0	1	1
6月28日	1	0	1
7月26日	1	1	2
8月30日	0	2	2
9月27日	1	1	2
10月25日	2	1	3
12月27日	2	1	3
令和5年1月31日	2	(1)	2(1)
2月28日	1	4	5
3月28日	0	3	3
合計	12	15 (1)	27(1)
令和5年4月1日待機者	8	12	20

(6) 月別利用者状況 () は再掲：緊急措置入居 年間利用率 98.2%

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日利用者数(在籍)A	50	50	50	50	50	49	50	49	50	49	49	49	
月中新利用者数B	1	0	0	2	0	3	1	1	0	3	2	2	15
月中退所者数C	1		0	2	1	2	2	0	1	3	2	1	15
月中入院者数D	0	0	0	2	2	1	0	0	2	3	2	1	13
月末入院者数E	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	2	1	8
月末日利用者(実数)F=A+B-C	50	50	50	50	49	50	49	50	49	49	49	50	
延べ利用者数	1,499	1,550	1,500	1,504	1,508	1,469	1,545	1,498	1,527	1,455	1,328	1,544	17,927

(7) 市町村別入退所者状況 () は再掲：緊急措置入居

市町村	令和5年4月1日			令和4年4月1日～ 令和5年3月31日			入院・入所・退所状況 ※(HP)…入院中
	男	女	計	入院 延数	入所 者数	退所 者数	
深谷市	6	21	27	104	7	8	(入所) 4/8 7/28 9/22 11/3 1/18 1/18 2/21 (退所) 7/26 8/24(HP) 9/8 10/23 10/27 12/15 1/8 2/19 (入院) 7/5～9/16(72) 8/21～8/24(4) 1/21～2/17(28)
熊谷市	1	3	4	61	1	3	(入所) 7/12 (退所) 9/18 1/11 2/26(HP) (入院) 7/1～7/14(15) 1/12～2/26(46)
寄居町	1	8	9	3	3	2	(入所) 9/8 9/14 3/4 (退所) 4/6 7/7 (入院) 3/28～3/30(3)
小川町	1	5	6	0	2	1	(入所) 2/27 3/18 (退所) 3/17
東松山市	2	0	2	0	1	0	(入所) 1/25
上尾市	-	-	-	29	0	1	(退所) 1/16(HP) (入院) 12/19～1/16(29)
飯能市	1	0	1	4	0	0	(入院) 12/3～12/6(4)
東秩父	0	1	1	0	1	0	(入所) 10/25
計	12	38	50	201	15	15	

(8) 利用者の身体状況 (令和5年4月1日現在)

日常生活動作等

介助項目区分	自立	一部	全介	利用者状況						
移動介助	9	6	35	使用機種	車イス 27名、リクライニング 17名、歩行器 0名					
食事介助	23	10	17	食事場所	食堂 45名、居室 5名 (内、経管者 5名)					
排泄介助	3	15	32	おむつ 使用者数	人数	定時	随時			
				常時の者	33	3回	8回以上			
				夜間のみ者	10	1回	1回以上			
入浴介助	2	13	35	使用浴槽	一般浴 3名・器械浴 35名・リフト浴 12名					
着替介助	1	8	41	毎日着替	要介助 0名、自力 0名					
体位交換介助	12	13	25	介助者の 状況	人数	定時	随時			
				褥瘡者	4	3回	1人			
				その他	12	3回				
障害老人の日 常生活自立度	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
	0	0	1	3	14	9	17	0	6	

精神状況等

精神項目区分	人数	原因疾患・認知度数						
意思疎通不能者数	3	原因疾患		機能的障害 1 名、精神的障害 2 名				
認知性老人者数	49	認知症度数		重度 6 名、中度 39 名、軽度 4 名				
知症老人の日常生活自立度	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
	1	3	1	5	25	9	6	0

(9) 常食給与栄養摂取量 (1 人平均)

種 目	エネルギー kcal	タンパク質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄 mg	レチノール ug	ビタミン B1 mg	ビタミン B2 mg	ビタミン C mg	塩分 g
1 日必要 摂取量	1,541	52.5	34.0	634	6.2	697	1.0	1.1	100	6.7
4 月	1,597	53.5	55.0	746	12.3	976	1.87	1.18	101	8.4
5 月	1,587	53.3	53.4	745	12.7	972	1.83	1.20	103	8.2
6 月	1,608	52.5	56.0	732	12.3	940	1.84	1.20	97	8.5
7 月	1,589	54.5	52.6	725	11.8	933	1.80	1.18	88	8.3
8 月	1,599	52.8	56.0	724	12.1	904	1.85	1.19	88	8.4
9 月	1,611	53.7	55.1	715	11.8	1,018	1.96	1.40	103	8.3
10 月	1,607	53.6	54.3	743	12.3	925	1.81	1.16	100	8.1
11 月	1,567	52.2	53.4	747	12.2	956	1.81	1.20	102	8.4
12 月	1,612	53.7	54.7	719	11.9	1,048	2.02	1.39	111	8.4
1 月	1,601	53.5	55.2	717	11.6	873	1.87	1.20	72	8.4
2 月	1,576	53.1	53.5	737	12.4	1,058	2.05	1.41	117	8.4
3 月	1,568	53.2	52.9	705	11.4	892	1.78	1.15	100	7.9
平 均	1,594	53.3	54.3	730	12.1	958	1.87	1.24	99	8.3

(10) 短期入所生活介護事業実績：()は予防介護の再掲 *1日平均利用率 17.3人

区	深谷市		小川町		寄居町		熊谷市		小計	
	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数
4	24	279	4	75	8	98	0	0	36	452
5	23	296	4	90	6	115	2	30	35	531
6	24	300	4	85	7	146	2	44	37	575
7	21	325	4	88	7	149	2	19	34	581
8	11	229	4	118	5	154	0	0	20	501
9	22	300	4	81	7	80	0	0	33	461
10	17(1)	241(2)	3	56	4	92	1	14	25(1)	403(2)
11	14(1)	190(3)	2	51	6	105	1	30	23(1)	376(3)
12	17(1)	249(1)	3	86	6	126	1	31	27(1)	492(1)
1	13(1)	220(3)	3	67	5	116	1	18	22(1)	421(3)
2	22(1)	299(5)	2	40	6	89	0	0	30(1)	428(5)
3	24	430	3	26	8	74	0	0	35	530
計	232	3,358	40	863	75	1,344	10	186	375	5,751

区	嵐山町		新座市		東秩父村		小計		合計	
	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数
4	1	14	1	30	1	30	3	74	39	526
5	1	12	1	31	1	31	3	74	38	605
6	1	20	1	30	1	13	3	63	40	628
7	1	21	1	31	1	7	3	59	37	640
8	1	4	1	23	1	31	3	58	23	559
9	1	18	1	26	1	30	3	74	33	535
10	1	25	1	26	1	24	3	75	28(1)	478(2)
11	1	25	1	20	0	0	2	45	25(1)	421(3)
12	0	0	1	24	0	0	1	24	28(1)	516(1)
1	0	0	0	0	0	0	0	0	22(1)	421(3)
2	0	0	0	0	0	0	0	0	30(1)	428(5)
3	0	0	0	0	0	0	0	0	35	530
計	8	139	9	241	7	166	24	546	381(5)	6,297(14)

深谷市デイサービスセンター清風苑 (介護予防・日常生活支援総合事業) 通所介護)

1. 総評

令和4年度は「利用者の自立した日常生活を支えます」の業務目標に基づき、多種多様なニーズに対応しました。

入浴では、季節風呂を毎月実施しました。長引くコロナ禍により、外出イベントやボランティアの受け入れが出来ず、少しでも利用者の方に有意義な時間を過ごしていただくために、旬の植物や果物を取り入れました。季節を感じながら清潔保持が出来、利用者の方より大変好評でした。

この他、懐かしみながら熱中症予防をする冷や汁フェア、焼いも大会、クリスマスケーキ作り等、季節に合わせた多くの食イベントを盛り込みました。

機能訓練では、利用者ごとに必要な項目を明確化しプランへ反映、3か月ごとの体力測定において身体機能の評価を行いました。平行棒、階段昇降、マルチトレーナー、滑車といった設備をフル活用し、サーキット型トレーニングを提供しました。また、担当ケアマネージャーへ月例報告として挙げさせていただきました。

運営状況においては、年度当初より徐々に利用率が向上し、令和4年10月実績では目標値を達成しました。しかし、令和4年11月に新型コロナウイルス陽性者発生による営業休止、令和4年12月にはコロナクラスターによる営業休止と大幅な営業縮小を余儀なくされました。感染終息後は利用率が落ち込みましたが、自粛者の利用再開や新規利用者の受け入れ、軽費老人ホーム入居者の利用増加等により徐々に改善しました。

業務状況については、入浴実施記録、食事摂取量、個別ケア記録、飲み物注文表の様式を1つの様式にまとめ、記録量の要約と紙媒体の縮小に結びました。ワイズマンのケア記録や申し送りのシステムを毎日ファイリングし、職員の情報共有に役立てました。

令和5年度も基本的な感染対策を徹底し、利用者が安心して在宅生活を続けられるよう支援をしていきます。

2. 各会議・委員会報告

【デイ会議・ケース会議】

業務時間内の実施を継続しました。デイ会議では、「行事イベント予定表」をより伝わりやすい内容に改善するため、デザインや掲載内容を工夫し、利用者の楽しみや意欲向上に繋げることができました。

ケース会議は、PDCAサイクルに基づき、作成、実施、モニタリング、評価を適切に実施しました。LIFEで得られたフィードバック情報をプランへ反映しました。

【業務向上委員会】

常に時間を意識し、業務は当日に完結できるよう、職員間で声を掛け合う連携を図り、超過勤務に繋がらないよう徹底しました。ノー残業デイについても、適切に対応しました。

【安全対策委員会】

年間事故発生件数9件と、前年と比較し1件増加しました。内訳は転倒5件、送迎中の事故1件、徘徊2件、異物混入1件でした。転倒については、骨折に繋がる重大事故はありませんでした。送迎中の事故では、利用者宅の門柱に接触する器物破損でした。いずれも軽度の接触で破損に繋がることはなかったですが、車両の適正な停車位置、徐行などの安全確認を徹底し、以降は同様の事故を防いでいます。徘徊は2件共に同利用者で、いずれも朝礼中に見守りが希薄となった際の出来事でした。出入り口にブザーを設置し、以降は同様の事故を防いでいます。

【広報委員会】

デイサービスだより白鳥の発行を継続しました。また、積極的にブログを更新し、広くデイサービスの情報を発信することが出来ました。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

- 4. 4.22 倫理・法令に基づく研修（事業所内：3名）
- 5.27 プライバシー保護に関する研修（事業所内：4名）
- 6. 8 介護サービス事業者集団指導（埼玉県福祉監査課：2名）
- 6.24 食中毒予防研修（事業所内：5名）
- 7.22 安全運転、緊急時対応に関する研修（事業所内：6名）
- 11.25 感染症等予防研修（事業所内：5名）
- 12. 1 身体拘束廃止に関する研修（事業所内：3名）
- 12.10 介護サービス事業者集団指導（埼玉県福祉監査課：2名）
- 5. 1.23 高齢者虐待防止研修（事業所内：3名）
- 1.24 高齢者虐待防止研修（事業所内：3名）
- 1.25 高齢者虐待防止研修（事業所内：2名）
- 1.26 高齢者虐待防止研修（事業所内：2名）

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	日数
8/1～8/5	介護等体験	1	5
9/5～9/9	介護等体験	1	5
10/3～10/7	介護等体験	1	5
11/7～11/11	介護等体験	1	5
12/6～12/8	川本中学校社会体験チャレンジ	2	3
合 計		6	23

5. ボランティア受け入れ

月	団体		個人		合計		《主要活動団体》 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染予防によりボランティア受け入れを全面休止としたため受け入れ実績なし
5	0	0	0	0	0	0	
6	0	0	0	0	0	0	
7	0	0	0	0	0	0	
8	0	0	0	0	0	0	
9	0	0	0	0	0	0	
10	0	0	0	0	0	0	
11	0	0	0	0	0	0	
12	0	0	0	0	0	0	
1	0	0	0	0	0	0	
2	0	0	0	0	0	0	
3	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	

6. 年間行事 () は参加者数

月	内 容
4	季節の湯：さくら (98) 調理レク：水ようかん (21) わらび餅風おやつ (23) 創作活動：こいのぼり壁画 (42) 次月カレンダー制作 (47) さくら風呂 (98)
5	季節の湯：菖蒲 (94) 園芸活動：夏野菜植え2日間 (20) さつま芋植え (18) 調理レク：こいのぼりホットケーキ (22) 創作活動：カーネーション作り (29) 次月カレンダー制作 (30)
6	季節の湯：バラ (92) 園芸活動：デイジャがいも収穫 (18) 保育園児じゃがいも収穫 (14) 調理レク：ツナポテト作り2日間 (42) 創作活動：あじさい作り (25) 次月カレンダー制作 (49)
7	季節の湯：ラベンダー (104) 季節行事：ドリンクバー 7/15～ 冷や汁フェア3日間 (65) 調理レク：ポテトドーナツ (22) じゃがいもフリッター (18) 創作活動：紙コップ風鈴 (16) 次月カレンダー制作 (39)
8	季節の湯：ミント (93) 季節行事：ドリンクバー ～8/31 調理レク：ところてん (25) ぼたもち作り (19) かき氷3日間 (63) 創作活動：すいかうちわ (17) 次月カレンダー制作 (31)
9	敬老会6日間 (131) 季節の湯：りんご (88) 創作活動：さつまいも工作 (6) 次月カレンダー制作 (29)
10	季節の湯：しょうが (105) 調理レク：チョコチップホットケーキ2日間 (51) 園芸活動：デイさつまいも収穫 (17) 保育園児さつまいも収穫 (17) 創作活動：次月カレンダー制作 (36)
11	季節の湯：みかん (33) 季節行事：焼いも大会2日間 (30) 調理レク：さつま芋きんつば作り (18) さつまいもフライ (25) 創作活動：クリスマスリース作り (9) 次月カレンダー制作 (11)
12	師走フェア6日間 (60) 季節の湯：ゆず (40) 季節行事：餅つき大会 (15) 調理レク：クリスマスケーキ作り2日間 (31) 創作活動：次月カレンダー制作 (38)
1	季節の湯：松 (86) 季節行事：書き初め4日間 (26) 調理レク：白玉団子でお汁粉作り (19) 創作活動：鬼のお面作り (51) 次月カレンダー制作 (31)
2	季節の湯：ミルク (90) 季節行事：節分豆まき (17) 調理レク：バンタインチョコ菓子作り (15) 創作活動：鬼のお面作り (13) 次月カレンダー制作 (46)
3	季節の湯：よもぎ (93) 調理レク：マシュマロムース (18) ホワイトデークッキー作り (18) 園芸活動：デイじゃがいも植え (16) 南保育園じゃがいも植え (9) 創作活動：ひな人形作り (8) 次月カレンダー制作 (47)

7. 業務報告

月	内 容
4	次月月間活動内容検討 デイサービス会議 ケース会議 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
5	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
6	法人総合防災訓練（地震・避難・消火） デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
7	デイサービス会議 ケース会議 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
8	個別ケア活動内容検討 デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
9	B C P 総合訓練（地震・避難・初動 30 分） デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
10	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会 実地指導 デイサービス総合防災訓練（地震・避難・消火）
11	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
12	夜間通報訓練 デイサービス満足度調査実施 デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
1	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会 看護記録ケア記録管理
2	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
3	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会

8. 利用者状況

※令和4年度に関する以外は、令和5年4月1日現在にて表示

(1) 利用者数

登録者 61名 (男性 19名・女性 42名)

(2) 利用者年齢別状況

年齢	～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男性	1	0	0	1	2	5	7	2	1	0	19
女性	0	0	0	1	2	4	14	15	5	1	42
計	1	0	0	2	4	9	21	17	6	1	61

(3) 要介護度

平均支援度 1.5 平均介護度 2.1

区分	事業対象	支援Ⅰ	支援Ⅱ	介護Ⅰ	介護Ⅱ	介護Ⅲ	介護Ⅳ	介護Ⅴ	計
男性	1	2	0	8	4	3	1	0	19
女性	1	4	7	13	5	6	5	1	42
計	2	6	7	21	9	9	6	1	61

(4) 利用事由 (重複あり)

	男性	女性	計
日中独居	4	6	10
家庭での入浴困難	5	10	15
独り暮らし	3	4	7
他者との交流	7	28	35
介護者の負担軽減	5	14	19
心身の機能維持	10	30	40
認知症の進行予防	6	15	21
計	40	107	147

(5) サービス開始・終了者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開始	5	0	3	3	7	1	4	2	1	0	3	2	31
終了	1	1	1	3	1	2	2	2	1	6	4	3	27

(6) 月間利用実績

(前期) 4月～9月

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
登録者数	59	62	61	65	64	69	—
延利用者数	537	538	551	561	573	566	3,326
(総合事業)	70	65	78	86	94	109	502
(介護)	467	473	473	475	479	457	2,824
運営日数	26	26	26	26	27	26	157
1日平均利用者数	20.7	20.7	21.2	21.6	21.2	21.8	21.2
昼食提供数	537	538	551	561	573	566	3,326
送迎回数	995	996	1,025	1,040	1,045	1,054	6,155
入浴回数	368	366	369	382	373	362	2,220

(後期) 10月～3月

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
登録者数	68	70	71	70	64	63	—
延利用者数	622	472	345	450	472	555	6,242
(総合事業)	108	88	66	73	76	104	1,017
(介護)	514	384	279	377	396	451	5,225
運営日数	26	26	25	24	24	27	309
1日平均利用者数	23.9	18.2	13.8	18.7	19.7	20.6	20.2
昼食提供数	622	472	345	450	472	555	6,242
送迎回数	1,148	867	627	812	870	1,033	11,512
入浴回数	404	305	219	311	333	382	4,174

(7) 地域別登録者

地区	深谷市	熊谷市	寄居町	小川町	合計
男	12	4	2	1	19
女	37	3	1	1	42
計	49	7	3	2	61

清風苑在宅介護支援センター（居宅介護支援事業者） 深谷市在宅介護支援センター清風苑（在宅介護支援センター）

令和4年度、新型コロナウイルス感染症のまん延により、ご利用者様の外出中心のサービスの利用自粛や、施設の方針等により介護サービスの利用控えがありました。通所介護や通所リハビリを長期間休み自宅に籠ることは、心身の活動性を低下させてしまう、ご利用者様の楽しみを失くしてしまう等の懸念もありましたが、ご家族の要望もあり、意向に沿って支援させていただきました。

また、職員体制変更の事情による居宅変更でご迷惑をお掛けしましたご家族様、ご利用者様には、ご理解を賜り誠にありがとうございました。

居宅ケアマネとしては、自身が感染源にならないよう体調を整え、ご利用者様ご家族様の意向を確認しながら訪問を継続してきました。このような時こそ、ご利用者様の在宅生活が安全に健やかに過ごされることが大切であることを事業所内で確認し、適切な医療、介護、福祉などのサービスを取り入れた支援に努めてきました。

2. 業務目標・各会議報告

(1) 業務目標

『利用者情報の共有、チームで支えていく為の連携強化』

①「質が高く気遣いのあるサービス・信頼に繋がる関わりの強化」

利用者宅や関係する事業所への訪問、来苑された際の言葉使いや行動を意識し信頼される関係性の向上・気遣いのあるサービスに繋がるようにマナーを意識して取り組むことが出来ました。利用者宅訪問の連絡・調整する際の話し方や進め方、訪問時の言葉遣いや態度を意識しスムーズな支援に繋がるように取り組むことが出来ました。

②「各利用者・介護者の情報共有と関係の強化」

定期的な利用者情報連携会議によって利用者の状況変化や支援背景、事業者や保険者からの報告を共有でき各担当だけでなくチームとして対応出来ました。主治医との会議は定期開催できませんでしたが、連携を維持し、介護と医療の両面から支える事が出来ました。

③「振り返りによる早期改善の体制作り」

一人で行動することが中心になる為、他のケアマネージャーからの視点を通して気づいた点を話し合い利用者や家族への振舞い、利用者や家族が必要としている事を見つけ支援に繋がっているか話し合うことが出来ました。帳票類の確認も年に4度に実施し帳票類の不備がないように努めました。

④「地域への介護相談・支援の機能としての発信」

介護者教室は残念ながら感染症対策のため行えませんでした。安心して参加・実施できる環境が整い次第開催したいと考えております。地域支え合いの会合については定期的に参加し、地域課題について意見交換させて頂きました。

(2) 各会議

①支援センター会議

運営会議の内容情報共有を行い、支援センターの運営に盛り込む事が出来ました。

②利用者情報サービス連携会議

各担当の利用者の変化を共有し、支援の進捗状況や地域の事業者など新たな社会資源になるサービスについての共有、支援上の課題などチームで連携して対応する事が出来ました。

③主治医との会議

嘱託医の都合により、定期会議を行うことはできませんでしたが、嘱託医来苑時の報告や、電話やメールを活用し、会議外で連携を図りながら支援を進める事が出来ました。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

- 令和4. 6. 15 第1回深谷市介護支援専門員連絡会
(深谷市介護支援専門員連絡協議会：3名)
- 令和4. 6. 24 第1回深谷市南部介護支援専門員交流会
(包括ふじさわ苑：3名)
- 令和4. 10. 18 第2回深谷市南部介護支援専門員交流会
(包括ふじさわ苑：2名)
- 令和4. 12. 1 認知症の基本研修
(支援センター：3名)
- 令和4. 12. 6 高齢者虐待防止研修
(支援センター：3名)
- 令和5. 1. 4 倫理、法令遵守、プライバシー研修
(支援センター：3名)
- 令和5. 1. 18 第3回深谷市南部介護支援専門員交流会
(包括ふじさわ苑：2名)
- 令和5. 1. 24 ケアプランデータ連携システム説明会
(介護保険課：1名)
- 令和5. 2. 17 認知症研修 ZOOM
(深谷市介護支援専門員連絡協議会：2名)
- 令和5. 2. 22 第1回在宅緩和ケア連携推進検討会 ZOOM
(深谷市介護支援専門員連絡協議会：1名)
- 令和5. 3. 14 訪問介護とケアマネージャー
(深谷市介護支援専門員連絡協議会医療看護部会：1名)
- 令和5. 3. 16 適切なケアマネジメント YouTube
(深谷市介護支援専門員連絡協議会：2名)
- 令和5. 3. 22 地域ケア会議
(包括ふじさわ苑：2名)
- 令和5. 3. 22 第2回深谷市介護支援専門員連絡会 (2名)
(深谷市介護支援専門員連絡協議会：2名)
- 令和5. 3. 29 合同事例検討会・在宅福祉支援推進センター
(清風苑在宅介護支援センター：2名)

4. 利用者状況

(1) 相談件数

相談件数	55 件
居宅依頼件数	38 件
終了件数	45 件

(2) サービス実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認定調査 件数	8	12	8	13	8	10	11	8	5	2	9	4
サービス 利用件数	109	111	107	115	115	116	113	118	107	95	89	89

(3) 利用者年齢構成

最高年齢 102 歳、最低年齢 58 歳

	64 歳 以下	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100 歳 以上
年齢別	1	3	8	12	21	26	10	6	2
男性	1	3	5	8	13	10	3	1	0
女性	0	0	3	4	8	16	7	5	2

(4) 利用者要介護状況

平均介護度 1.9

	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
介護別	1	6	10	25	23	10	11	3
男性	1	2	3	10	16	6	5	1
女性	0	4	7	15	7	4	6	2

グループホームすずかけ (介護予防) 認知症対応型共同生活介護)

1. 総評

令和4年度を振り返り、利用者状況は各担当中心に利用者への共通理解を深めた支援もできました。入退院2件、入退所1件ありましたが、期間も短く利用率の目標達成は出来ました。

職員環境として、一昨年より2人担当制を1年実施してみて、個々でも利用者の想いをくみ取った支援もできるようになっていきました。これからは、そうした基盤の基で更なる充実に取り組みます。これからも、ひとつひとつの課題を全職員で共有できるようコミュニケーションを取り、相談しやすい環境作りを行っていきます。

利用状況については、待機者を確保することが難しいのが現状ですが、速やかな入所になるよう、サービス事業所や病院等との連携を今まで以上に取ることを目指します。

2. 業務目標・各会議・委員会報告

(1) 業務目標報告

「個々の想いが伝わる生活支援」

前年度同様、あらゆる生活の場面で関わりを持ち、認知症の理解を深め、たくさんの時間を一緒に過ごすことで利用者との関係性がより良いものになり、職員が利用者の想いを理解した行動が出来ました。身体的精神的状況の変化を感じ、理解しようと努めることで、今何が必要なのかわかるようになりました。長期化するコロナ禍で生活に制限はありますが、今まで以上に個々の想いをくみ取れるような支援と感染予防を重視して行きます。

(2) 各会議報告

①グループホーム会議

報告や確認事項、事故、ヒヤリハットの振り返りや各ケースを検討しています。就業時間内で分散会議とし、職員全員に周知をしてきました。その中で「介護保険制度の基本的理解」「ターミナル研修」「プライバシーの保護研修」「高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修」「認知症に関する基本的理解」「法令遵守・倫理基礎研修」「感染症研修」の勉強会を実施しています。今後も必要なテーマをあげ、知識を深めていきます。

②運営推進会議

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の感染状況が緩和されず会議の開催は行なっていません。写真入りの書面で日常生活の様子などを伝えています。(大里広域からも承認)令和5年度は、少しずつ緩和されてきているので、状況をみながら安全な方法で実施して行きます。

(3) 各委員会報告

①生活向上委員会

利用者の対応をより行いやすくする為、全ての業務の見直しを図りました。全職員で意見を出し合い、利用者との関わりを多く持てるようにし、現在ぬり絵やパズル以外の事が出来るようになりました。課題として、長期化している感染予防対策により、利用者がストレスを感じている様子もありましたが、職員が話し相手や家族と電話での会話などでストレス緩和されています。令和5年度は感染予防の徹底を継続しながら、毎日の運動と併せて外への活動は基より利用者が家族との繋がりを多く持てるように尽力して行きます。グループホームでの心身ともに健康的な生活が長期的に送れるよう進めて行きます。

②身体拘束廃止委員会

毎回、生活環境や業務の中で身体拘束にあたらぬか、行動抑制になりかねない言動を検討し、各定例会議等で全職員が共通に理解し支援にあたるよう啓発しています。定期的な会議や勉強会、随時申し送り等により状況を確認しながら取り組んでいます。令和5年度も継続して、身体拘束の理解を高め利用者に向き合います。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

令和 4. 5	高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修（施設内研修：9名）
5. 17～25	介護保険制度の基本的理解（施設内研修：9名）
7. 7～13	プライバシーの保護研修（施設内研修：9名）
8. 23～9. 7	ターミナル研修（施設内研修：9名）
9. 24～10. 4	認知症に関する基本的理解（施設内研修：9名）
10. 25	感染症研修（施設内研修：9名）
11. 27～12. 8	高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修（施設内研修：8名）
令和 5. 2. 25～28	法令遵守・倫理基礎研修（施設内研修：9名）

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人 数	日 数
なし	なし	0	0
合 計		0	0

5. ボランティア受け入れ

	団 体		個 人		合 計	
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数
4	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

6. 年間行事 () は参加者数

月	内 容
4	運営推進会議 ※書面にて報告・送付 5/2 4/10 お花見会食 (14)
5	ドライブ
6	6/25 バーベキュー大会 (13) 6/15 総合防災訓練 (13) 運営推進会議 ※書面にて報告・送付 7月
7	七夕
8	8/30 すずかけ花火大会 (14) 運営推進会議 ※書面にて報告・送付 9月
9	9/14 敬老会 (14)
10	10/17 ドライブ：花園アウトレット 運営推進会議 ※書面にて報告・送付 11/23
11	
12	12/9 忘年会 (13) 12/21 クリスマス会 (14) 運営推進会議 ※書面にて報告・送付 1/27
1	
2	運営推進会議 ※書面にて報告・送付 3月
3	3/6 総合防災訓練 (17)
該当月	誕生会

7. 業務報告

月	内 容
4	4/22 床ワックス グループホーム会議 ※数回に分けて実施 4/17、18、25 すずかけニュース 93 号発行
5	すずかけニュース・空床状況送付 5/28 生活向上委員会 5/11 消防設備点検 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 5/25、28、30
6	6/15 防災訓練 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 7/7、12、13 すずかけニュース 94 号発行
7	グループホーム会議 ※数回に分けて実施 8/3、4、8
8	生活向上委員会 書面にて申送 8/25 床ワックス全箇所 すずかけニュース 95 号発行 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 8/23、24、29
9	グループホーム会議 ※数回に分けて実施 9/24、27、29 すずかけニュース・空床状況送付
10	10/25 グループホーム会議 すずかけニュース 96 号発行
11	11/9、10、11 生活向上委員会 11/29 生活向上委員会 11/9 消防設備総合点検 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 11/27、28 12/3、8
12	12/8GH 実地指導監査 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 12/23、26、29、30 1/1
1	グループホーム会議 ※数回に分けて実施 1/29、30、31
2	2/27 生活向上委員会 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 2/25、27、28 すずかけニュース 97 号発行
3	3/6 防災訓練 すずかけニュース・空床状況送付 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 3/25、27、28
備考	不定期：居宅介護支援事業所、老健事業所、病院合計 66 ヶ所入居者空床、待機情報案内書、すずかけニュース郵送。

8. 利用者状況 <令和4年度に関する以外は令和5年4月1日現在にて表示>

(1) 利用者定員及び現在員状況

定員9名 現在員9名 (男性3名 女性6名)

(2) 利用者年齢別状況

年齢	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100 ～104	計
男性	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3
女性	0	0	0	0	1	1	2	2	0	6
計	0	0	1	0	1	3	2	2	0	9

*最高年齢 女性98歳9ヶ月

*最若年齢 男性73歳7ヶ月

*平均年齢 89.0歳

(3) 入所申込状況 (入所検討委員会)

年 月	件 数	年 月	件 数
令和4年 4月	0	10月	1
5月	0	11月	0
6月	1	12月	0
7月	0	令和5年 1月	0
8月	0	2月	0
9月	0	3月	0

(4) 利用期間

利用期間	男	女	計
3ヵ月未満	0	0	0
6ヵ月未満	0	0	0
1年未満	0	1	1
2年未満	0	0	0
2年以上	3	5	8
計	3	6	9

(5) 月別利用者状況

年間利用率 99.4%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分													
月初日利用者数 (在籍)A	9	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107
月中新利用者数B	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月中退所者数C	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月中入院者数D	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
月末入院者数E	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月末日利用者数 (実数)F=A+B-C	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107
延べ利用者数	265	273	268	279	279	270	279	270	279	271	252	279	3,264

(6) 市町村別入退所者状況

市町村	令和5年 4月1日現在			令和4年度			入院・入所・退所状況
	男	女	計	入院 延数	入所 者数	退所 者数	
深谷市	3	5	8	2	1	1	(入) 6/27 (退) 6/24 (院) 4/25~5/7 1/8~17
熊谷市	0	0	0	0	0	0	
寄居町	0	1	1	0	0	0	
計	3	6	9	2	1	1	

(7) 利用者の心身状況

【日常生活動作】

介助項目区分	自立	一部介助	全介助
移動介助	4	5	0
食事介助	4	4	1
排泄介助	0	5	4
入浴介助	0	9	0
着替え介助	3	4	2
体位交換介助	0	7	2

【心身状況】

認知症老人の 日常生活自立度	自立	I	II	II a	II b	III	III a	III b	IV	M
	0	1	2	1	4	0	0	0	1	0

(8) 要介護度

*平均介護度 1.9

要介護区分	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
男性	0	2	0	1	0	0	3
女性	0	2	2	2	0	0	6
計	0	4	2	3	0	0	9

生計困難者に対する相談支援事業

(彩の国あんしんセーフティネット事業)

1. 総評

令和4年度の支援要請は、計0件でした。新型コロナウイルス感染症による影響で要請なく、食糧支援を年間3回うけ、支援センター関係の困窮者へ配布しております。今後、感染状況の好転により要支援者の力になれるよう支援活動に努めます。

また、買い物送迎支援の計画実施も新型コロナウイルス感染症による影響で停止している状況ですが、再開に向け協力していきます。同時に感染予防を徹底しながら慎重に活動していきます。

2. 相談状況 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(1) 年齢構成・相談件数

年 齢	人 数
20～30 歳代	0
40～50 歳代	0
60～70 歳代	0
80 歳～	0
合 計	0

(2) 紹介経路

紹 介 先	人 数
行政・社協・市町村	0
地域包括・医療・福祉施設・	0
民生委員・知人	0
本人	0
合 計	0

(3) 相談内容の主な特徴 (重複あり)

特 徴	人 数
高齢	0
失業	0
児童	0
母子・寡婦	0
身体・知的・精神障害	0
DV・虐待	0
多重債務	0
傷病	0
その他	0

(4) 現物給付の主な内容 (重複あり)

内 容	人 数
食材	0
光熱水費	0
居住関係	0
日用品費	0
交通費	0
医療費	0
介護サービス	0
その他	0

3. 研修・会議の参加状況 (参加日・研修会議名 (主催：参加者))

研修参加 0 件

事 務

1. 総評

基幹的業務である法人事務、財務会計処理、職員給与計算、職員福利厚生や介護保険制度改正等の手続きを柱に取組みを行ないました。具体的には事業報告3ページの令和4年度の主な庶務事項となっています。今後も会計処理を迅速かつ正確に示すと共に事務部門の効率化と各事業所の円滑な事業運営に貢献してまいります。

2. 業務目標

- ・現担当業務を今以上に確実に行う。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

4. 5.20 埼玉県老人福祉施設協議会 定期総会(オンライン)(県老施協：1名)
6. 1 埼玉県社会福祉法人経営者協議会定期総会(オンライン)(県経営協：1名)
- 7.21 埼玉県老人福祉施設協議会 事務員研修「改正個人情報保護法」
(オンライン)(県老施協：1名)
11. 3 令和4年度養介護施設・事業所従事者等向け高齢者虐待防止研修
(WEB)(埼玉県：1名)
5. 2.27 令和4年度 第4回経営協セミナー(オンライン)(県経営協：1)
- 3.11 令和4年度 第3回研修会(オンライン)(県老人福祉を考える会：1名)
- 3.23 第2回北部圏域会議及び研修会(オンライン)(県老施協：1名)

給食

1. 総評

給食では令和4年度事業計画として①安心・安全、②発展、③職員研修、④連携と4つの業務目標について取り組みました。

① 「安心・安全」

誤嚥・窒息しない安全な食事を提供するために食形態の写真を使用し、食形態の統一・トロミに関しても他職種と共同で共通の基準を元に提供できました。

厨房内の衛生管理が充実するように備品の確認や使用している機器などの確認をしました。

昨年度より検食対象の職員の数を増やし、幅広い範囲から意見を聞き、献立に反映できました。

② 「発展」

おやつレクの開催もコロナ過における生活では楽しく過ごすための大きな役割を担いました。多職種と協力し合い、おいしく！楽しく！良い時間となりました。

行事食・献立に新しいメニューを取り入れ、調理の負担を考えながら、取り入れていくことができました。

③ 「職員研修」

コロナウイルスの影響により、オンライン研修となりましたが、参加することで新しい情報を学ぶことができました。

施設内の感染予防研修を感染予防への対策の徹底と意識付けとなるよう実施しました。

④ 「連携」

嗜好調査による利用者からの生の声や検食簿を通して、幅広く職員からの意見を活かし日清医療食品㈱との連携により、メニューや味付け、彩りなど、常に改善意識をもって、食事提供に努めました。

また、グループホームやデイサービスとの連携により、各部署の食事がおいしく、安全で健康的な生活維持に繋がるよう連携に努めました。

2. 業務内容

月	基 幹 業 務 内 容	調 査	会 議
4	利用者年齢構成表作成 納入業者の衛生教育及び食品搬入検査	残食調査	給食会議
5	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
6	食中毒予防強化 厨房内特別個所掃除及び機会器具の点検	温度湿度調査	〃
7	夏期利用者帰省の確認	嗜好調査	〃
8	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
9	行事食献立内容の研究	残食調査	〃
10	利用者年齢構成表確認	残食調査	〃
11	ノロウイルス、インフルエンザ感染症対策強化	残食調査	〃
12	年末年始利用者帰省の確認 納入業者年末年始休業確認	残食調査	〃
1	厨房内特別個所掃除及び機械器具の点検	温度調査	〃
2	厨房周りの環境美化	嗜好調査	〃
3	食糧構成の検討・新年度業務計画の作成	残食調査	〃

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

3 件

- ・ 10月28日 熊谷保健所 令和4年度 給食施設研修会 YouTubeによる動画配信
参加者：1名
- ・ 11月25日 令和4年度 埼玉県老人社会福祉協議会「調理師・栄養士研修会②」
Zoomによるオンライン
参加者：1名
- ・ 1月16日 一般社団法人 埼玉県老人福祉施設協議会 栄養士・調理員研修会
Zoomによるオンライン
参加者：1名